



かみの毛はどうしてあるの

かみの毛がなぜあるかは、むずかしい質問

「かみの毛がなぜあるか」、これに答えられる人は、まだ、世界にだれもいないといわれています。それくらい、むずかしい質問なのです。

もともと人間の祖先は、現在のサルのように、体じゅうに毛が生えていたと考えられています。しかし、なぜ頭の毛だけが太くて長いままなのか、体に生えている毛が、細くて短いうぶ毛になってしまったのかなど、まだ、理由がわかっていないのです。

考えられることは

かみの毛がなぜあるか、そのわけは想像することしかできませんが、現在いわれている毛の役目から考えると、次のようなことが考えられます。

その一つは、暑さや寒さ、きずなどから体を守ること。二つめは、男性と女性のちがいを目立たせること。三つめは、体をかざることです。

そして、かみの毛だけについてその役目を考えると、第一には、クッションのようなはたらきをして、何かがぶつかっても、あまり痛くないようにしています。第二には、かさのようなはたらきをして、強い日差しから頭を守っています。第三には、ぼうしのような役目をしていて、寒さから頭を守っています。

このように考えていくと、「かみの毛がなぜあるのか」ということについては、どうも、わたしたちの身を守るためという答えが、いちばん適当なようです。

なぜなら、人間の頭は、体の中で最も大切な部分だからです。（監修・保志 宏）

